

2024年9月19日  
商工中金

## サステナブルファイナンス業務における地域金融機関協調 九州第1号案件！ 熊本県産和栗を使った地元銘菓を製造する有限会社福田屋に対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（熊本支店）は、有限会社福田屋（本社：熊本市北区、代表者：福田 聖也）に対し、サステナブル経営に必要な資金として1億5,000万円の融資枠を開設しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。また、本件は、商工中金と熊本第一信用金庫が2024年3月に締結した「サステナブルファイナンス業務における連携・協力に関する覚書」に基づき実行した第1号案件となります。

同社は、熊本県において地元銘菓を製造・販売しています。同社商品で使用される栗は熊本県産和栗100%で、「栗千里」は2018年に実施された第9回ニッポンご当地おやつランキングにてグランプリを受賞しました。

今回同社は、電気使用量の削減や食品廃棄物の抑制等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【有限会社福田屋の概要】

所在地	熊本県熊本市北区植木町豊田814番地
代表者	福田 聖也
業種	和・洋菓子製造業
資本金	300万円
従業員数	66名（2024年8月時点）
設立	1957年3月



【同社商品】

# NEWS RELEASE

## SHOKO CHUKIN BANK



### (※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

